

かさおかちくしょうほうくみあいしょうほうほんぶ
笠岡地区消防組合消防本部

CAFS付救助工作車を配備



笠岡地区消防組合 発足45周年記念

車両紹介

笠岡消防署 救助工作車

レスキュー車でありながら、放水のためのポンプ装置及び450Lの水槽に加えC.A.F.S(圧縮空気泡消火装置)も搭載しており、少量の水で消火しながら救助を行うことができる、全国初の多目的型の救助工作車となっています。



メーカー	: 日野(艀装:モリタ)	ホイールベース	: 3,750mm
シャーシ型式	: SDG-GX7JGAA改	最小回転半径	: 6.4m
全長	: 7,800mm	車両総重量	: 11,705kg
全幅	: 2,300mm	乗車定員	: 5名
全高	: 3,200mm	総排気量	: 6,403cc

本部紹介

当消防組合は、岡山県西南部県境に位置し、東は倉敷市、西は広島県福山市、南は瀬戸内海、北は井原市に接しています。笠岡市、鴨方町、寄島町及び里庄町の1市3町により消防を広域的に処理するため昭和47年に笠岡地区消防組合発足、市町村合併により2市1町の構成となりました。

本部所在地：岡山県笠岡市 消防体制：1本部 4課 2署 2出張所 消防車両：14台
管轄面積：194km² 消防職員数：127人 管轄人口：約8.4万人 救急車両：5台



住宅用火災警報器を正しく設置・維持管理しましょう！